



自由民主党岩手県連 台風19号災害 現地調査を行う



山田町船越、釜石市尾崎白

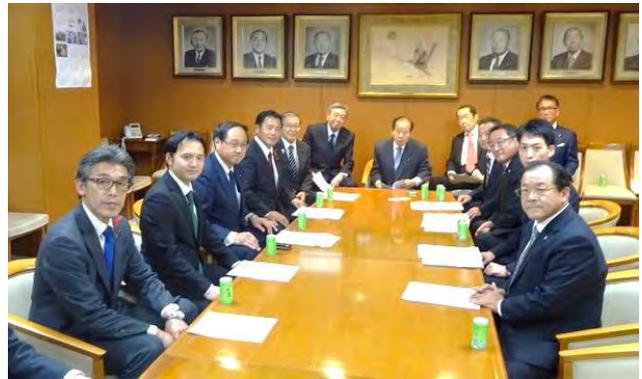
老を、南は宮古市重茂半島、浜の沿岸部を中心に調査を行い、各市町村長からの復旧に向けた要望を聞き取りました。その後、県選出の国會議員を通じ、一般の台風による被害総額が1300億円強と算定されている旨を政府与党に届け、「激甚災害」の指定を受けました。11月12日には、関係省庁と鈴木俊一総務会長、二階幹事長に要望活動を行い、「復旧に当たっては「改良復旧」を強く要望してまいりました。



本年10月12、13日にかけて、関東から東北の広い地域にかけて猛威を振るった台風19号は、岩手県にも甚大な被害をもたらしました。特にも、岩手県沿岸部は8年前の東日本大震災、3年前の台風10号と、三度にわたり大きな被害を受けており、自由民主党岩手県連は、直ちに「令和元年台風19号非常災害対策本部」を立ち上げ、10月22日に二班体制で沿岸部を中心に調査を行いました。北は普代村、田野畑村、宮古市、田山田町船越、釜石市尾崎白

自由民主党岩手県連 台風19号災害 知事へ要望書提出

去る11月6日、自民党岩手県連は、知事へ台風19号被害に対する要望を提出し、瓦礫災害廃棄物の処理等を中心に速やかな対応を求めました。これは、県連が10月22日に、特にも被害の大きかった本県沿岸部を二班に分かれ訪問調査し、各市町村長からの要望を取り纏めたものです。要望の際、「岩手県は東日本大震災を受けているにも関わらず、その対応策が遅れている。」こと等岩手県の対応の鈍さについて指摘しました。



11月12日、政府四省庁と党本部に対し、台風19号被災自治体への財政措置の充実や被災施設の早期復旧、農林水産業や商工観光事業者への支援策の充実、三陸鉄道の早期復旧支援など8項目を要望してまいりました。国交省、農林水産省、総務省、復興庁、そして鈴木総務会長、二階幹事長に強く訴えたことは、国土強靱化・事前防災の観点から「現状復旧ではなく改良復旧」を、三陸鉄道の早期再開に向け、財政措置の拡充、その他、被災自治体への人的支援や災害廃棄物の広域処理、生活安定支援策の充実について陳情しました。鈴木総務会長や二階幹事長からは、「被災地の声をしっかりと受け止め、全力で支援する」と力強いお言葉を頂きました。

自由民主党岩手県連・県議会自由民主党 台風19号災害 中央陳情